

カタツムリの暮らし

3年 説明文 6番

名前

雨の日、庭の葉の上で、カタツムリが、ゆっくり動いているのを見かけます。かたいからをせおったカタツムリは、いったい、どんなくらしをしているのでしょうか。

カタツムリは、じつは、貝のなかまでです。せなかのからは、かたい家のようなもので、あぶない時には、その中に、体をすっぽりとかくします。だから、鳥などにおそわれても、身を守ることができるのです。

カタツムリは、しめった所が大すきです。かんそうには、とても弱いので、よく晴れた昼間は、葉のうらなどで、じっとしています。そして、しめり気の多い雨の日や、夜になると、元気に動き回って、えさをさがすのです。

食事のとき、カタツムリは、小さな歯がたくさんなんだ、やすりのようでした、葉っぱを、けずるようにして食べます。その音が聞こえるほど、たくさん食べることも、あるそうです。

このように、カタツムリは、からで身を守り、しめった所でくらしながら、しずかに生きています。雨の日には、そんなカタツムリのくらしを、そつと観察してみましょう。



School Stock 『カタツムリくらし』より

(1) この文しよは、おもに何について書かれていますか。正しいものを一つえらび、記号に○をつけましょう。

ア カタツムリの色のちがい

イ カタツムリのくらしのようす

ウ 貝のおいしい食べ方

エ 雨の日のすごし方

(2) カタツムリは、あぶない時、どのようにして身を守りますか。文しよの言葉を使って書きましょう。

(3) カタツムリが、元気に動き回って、えさをさがすのは、いつですか。正しいものを一つえらびましょう。

ア よく晴れた昼間

イ しめり気の多い雨の日や、夜

ウ 風の強い日

エ 雪のふる寒い日

(4) カタツムリは、何を使って、葉っぱを食べますか。文しよの言葉を使って書きましょう。

(5) この文しよを読んで、心にのこったことや考えたことを書きましょう。

例えば

「カタツムリが、かんそうに弱くて、雨の日に元気になるの知って、おどろいた。」

「小さな体で、からを使って身を守るくふうが、すごいと思った。」

カタツムリのくらし

解答

3年 説明文 6番

名前

雨の日、庭の葉の上で、カタツムリが、ゆっくり動いているのを見かけます。かたいからをせおったカタツムリは、いったい、どんなくらしをしているのでしょうか。

カタツムリは、じつは、貝のなかまでです。せなかのからは、かたい家のようなもので、あぶない時には、その中に、体をすっぽりとかくします。だから、鳥などにおそわれても、身を守ることができるのです。

カタツムリは、しめった所が大すきです。かんそうには、とても弱いので、よく晴れた昼間は、葉のうらなどで、じっとしています。そして、しめり気の多い雨の日や、夜になると、元気に動き回って、えさをさがすのです。

食事のとき、カタツムリは、小さな歯がたくさんなんだ、やすりのようなしたで、葉っぱを、けずるようにして食べます。その音が聞こえるほど、たくさん食べることも、あるそうです。

このように、カタツムリは、からで身を守り、しめった所でくらしながら、しずかに生きています。雨の日には、そんなカタツムリのくらしを、そっと観察してみましょう。



School Stock 『カタツムリくらし』より

(1) この文しよは、おもに何について書かれていますか。正しいものを一つえらび、記号に○をつけましょう。

ア カタツムリの色のちがい

イ カタツムリのくらしのようす

ウ 貝のおいしい食べ方

エ 雨の日のすごし方

(2) カタツムリは、あぶない時、どのようにして身を守りますか。文しよの言葉を使って書きましよう。

(例) せなかの、かたいからの中に、体をかくして守る。

(3) カタツムリが、元気に動き回って、えさをさがすのは、いつですか。正しいものを一つえらびましよう。

ア よく晴れた昼間

イ しめり気の多い雨の日や、夜

ウ 風の強い日

エ 雪のふる寒い日

(4) カタツムリは、何を使って、葉っぱを食べますか。文しよの言葉を使って書きましよう。

(例) 小さな歯がたくさんなんだ、やすりのようなしたを使って食べる。

(5) この文しよを読んで、心にのこったことや考えたことを書きましよう。

(例) カタツムリが、かんそうに弱くて、雨の日に元気になると思わなかった。小さな体で、じょうずに生きていると思った。

例えば

「カタツムリが、かんそうに弱くて、雨の日に元気になると思わなくて、おどろいた。」

「小さな体で、からを使って身を守るくふうが、すごいと思わった。」

問1 イ

からで身を守ること、しめった所を好むこと、えさの食べ方など、カタツムリのくらしが説明されています。

問2 （例）せなかの、かたいからの中に、体をかくして守る。

二つ目の段落に「その中に、体をすっぽりとかくします」とあります。

問3 イ

三つ目の段落に「雨の日や、夜になると、元気に動き回って」とあります。かんそうに弱いため、しめった時に活動します。

問4 （例）小さな歯がたくさんならんだ、やすりのようなしたを使って食べる。

四つ目の段落に「やすりのようなしたで……けずるようにして食べます」とあります。

問5 （例）カタツムリが、かんそうに弱くて、雨の日に元気になると知らなかった。小さな体で、じょうずに生きていると思った。

おどろいたことや気づいたことが、文しょうの内ようとつながって書けていれば正かいです。